

【大阪府公共事業における】景観形成の目標設定シート②

※大阪府公共事業景観形成指針にかかるチェックリスト

記入日	年 月 日			
記入者	所属		担当者名	連絡先
事業名称	※施設の名称及び新築・改修・改築等の別が分かるように記載してください 記入時点（いずれかに○）： 基本設計(予備設計)・実施設計(詳細設計)			
STEP 1. 施設別指針を確認する（1）				
施設の別	景観形成指針	景観に関する基本的な考え方		
道路	線形は、周辺の地形や周辺の景観への配慮の観点を含む総合的な計画条件を検討して決定する。また、良好なまちなみなど地域の景観資源を活用し、歩行時や走行時の景観の変化や眺望に配慮する。	<input type="checkbox"/> 配慮した <input type="checkbox"/> 配慮していない <input type="checkbox"/> 検討中 <div style="border: 2px dashed red; padding: 5px; color: red; font-weight: bold;">この余白部分には、上記の項目をチェックし、配慮した事項、或いは、配慮していない理由を簡単に記載してください</div>		
	大規模な法面や盛土などの周辺の景観に大きな影響を及ぼす恐れのある構造は、できる限り避けるなど、地域の景観を乱さない構造を選択する。	<input type="checkbox"/> 選択した <input type="checkbox"/> 選択していない <input type="checkbox"/> 検討中		
	橋梁の新設は、地域の特性に応じて、周辺の景観に対して配慮するとともに、地域の景観資源となるよう、主要な眺望点からの見え方を考慮する。	<input type="checkbox"/> 考慮した <input type="checkbox"/> 考慮していない <input type="checkbox"/> 検討中		
	高架橋は様々な角度から眺められる対象となることから、視覚的連続性に配慮するとともに、周辺景観に馴染ませる工夫を行い、圧迫感、威圧感を与えないように努める。	<input type="checkbox"/> 努めた <input type="checkbox"/> 努めていない <input type="checkbox"/> 検討中		
	舗装の新設及び大規模な改修は、安全面、機能面や環境面の配慮とともに、地域の特性に応じたデザインや素材の工夫に努める。	<input type="checkbox"/> 努めた <input type="checkbox"/> 努めていない <input type="checkbox"/> 検討中		
	幹線道路などにおいては、安全で快適な通行空間の確保、都市景観の向上、都市防災の向上、及び歴史的景観の保全のために必要な場合は、電線管理者の協力を得て、電線類の地中化など無電柱化に努める。	<input type="checkbox"/> 努めた <input type="checkbox"/> 努めていない <input type="checkbox"/> 検討中		
	道路景観を形成する重要な要素である街路樹等の緑化にあたっては、景観のアクセントとなるような効果的な配置を工夫する。また、地域や場所の特性を表現するため、在来樹種等の活用を検討するとともに、植栽を行う地域や場所の環境に応じて適正な樹種を選択する。	<input type="checkbox"/> 工夫・選択した <input type="checkbox"/> 工夫・選択していない <input type="checkbox"/> 検討中		

STEP 1. 施設別指針を確認する（2）		
施設の別	景観形成指針	景観に関する基本的な考え方
河川	水辺に人々が集まる賑わい空間や交流の空間など、地域の特性や自然との共存、安全面に配慮しつつ、人々が自然とふれあえる水辺の整備に努める。	<input type="checkbox"/> 努めた <input type="checkbox"/> 努めていない <input type="checkbox"/> 検討中
	地域の特性に応じて、清らかな水の再生、蛇行する流れ、瀬や淵などの多様な水辺の再生、護岸の素材の工夫などにより、生き物の生息の場（生態系）に配慮し、自然と共生する川をめざした整備を図る。	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図っていない <input type="checkbox"/> 検討中
	河川空間とその周辺地域を一体的に捉え、河川沿いの緑地の保全、堤防や河川敷、沿岸敷地等の緑化に努める。	<input type="checkbox"/> 努めた <input type="checkbox"/> 努めていない <input type="checkbox"/> 検討中
港湾	水域、生物環境の保全・創造や、景観に配慮した緑豊かで人々に安らぎを与える水辺空間の形成を図る。	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図っていない <input type="checkbox"/> 検討中
	安全面に配慮した上で、海とふれあい、散策できる、府民に開かれた魅力的な水辺空間の整備を図る。	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図ってない <input type="checkbox"/> 検討中
	埋立て行為の実施や沿岸の施設の整備の際は、海上からの眺めなど周囲の景観にも配慮し、海辺に調和するものとする。また、施設の配置等については、海への眺望の確保や広場の設置など、海辺を積極的に活用したものとする。	<input type="checkbox"/> 活用した <input type="checkbox"/> 活用していない <input type="checkbox"/> 検討中
	歴史性、公園・緑地のアメニティ、産業景観（テクノスケープ）など、個性的な景観資源の顕在化と活用に努める。	<input type="checkbox"/> 努めた <input type="checkbox"/> 努めていない <input type="checkbox"/> 検討中
ため池、水路	安全面に配慮した上で、人々が水と緑に親しむオアシスとして、地域の景観拠点となる水辺空間の整備に努める。	<input type="checkbox"/> 努めた <input type="checkbox"/> 努めていない <input type="checkbox"/> 検討中
	地域の特性に応じ、池固有の歴史や生物等を活かした個性的な景観形成に努める。	<input type="checkbox"/> 努めた <input type="checkbox"/> 努めていない <input type="checkbox"/> 検討中
	自然と調和し、生き物を育む緑豊かな水辺環境の整備に努める。	<input type="checkbox"/> 努めた <input type="checkbox"/> 努めていない <input type="checkbox"/> 検討中
	ため池や水路周辺の地域が一体となった水辺環境保全への取り組みを進める。	<input type="checkbox"/> 進めた <input type="checkbox"/> 進めていない <input type="checkbox"/> 検討中
ダム	ダムとそれに付属する付替え道路等の建設にあたっては、自然環境への影響は可能な限り回避・低減・代償するため、地形改変を最小限にするとともに、植生や生態系の保全、回復に努める。	<input type="checkbox"/> 努めた <input type="checkbox"/> 努めていない <input type="checkbox"/> 検討中
	地域にふさわしい整備や保全を地域の協力を得ながら進め、良好な水辺空間の創造や維持管理に努める。	<input type="checkbox"/> 努めた <input type="checkbox"/> 努めていない <input type="checkbox"/> 検討中

STEP 1. 施設別指針を確認する（3）		
施設の別	景観形成指針	景観に関する基本的な考え方
砂防	構造物等は周囲の自然景観に調和するように努める。	<input type="checkbox"/> 努めた <input type="checkbox"/> 努めていない <input type="checkbox"/> 検討中
	既存の樹木・樹林の保全や植生回復等により、緑豊かな斜面整備やグリーンベルトの整備を行う。	<input type="checkbox"/> 行った <input type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 検討中
公園緑地	都市における緑の拠点として、緑豊かな都市林を形成するとともに、周辺の緑との連続性、ため池や川、海などの水辺との連続性に配慮する。	<input type="checkbox"/> 配慮した <input type="checkbox"/> 配慮していない <input type="checkbox"/> 検討中
	文化やスポーツなど、多様な機能の導入にあたっては、広場や樹林の永続的確保と緑の育成を最大限に尊重する。	<input type="checkbox"/> 尊重した <input type="checkbox"/> 尊重していない <input type="checkbox"/> 検討中
	公園の立地する地域の歴史や生態系などの特性を把握し、地域に根ざした公園をつくとともに、安全面に配慮した上で、緑と施設の配置バランスや周辺地域を意識したデザインを行うなど、個性的で魅力的な公園を創造する。	<input type="checkbox"/> 創造した <input type="checkbox"/> 創造していない <input type="checkbox"/> 検討中
公共建築物	周辺景観との調和、道路との一体的な景観形成、地域性を活かしたデザインなど、景観づくりの手本として良好な景観形成を行う。	<input type="checkbox"/> 行った <input type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 検討中
	建築物周辺の附帯物（高架水槽、ダクト類、エアコン室外機等）については、建築物との一体化や敷地の外から見えない位置への配置など、外観に配慮する。	<input type="checkbox"/> 配慮した <input type="checkbox"/> 配慮していない <input type="checkbox"/> 検討中
	上部利用可能な施設の上部利用や広場の設置など、周辺景観と調和し、開かれた外部空間づくりを進める。	<input type="checkbox"/> 進めた <input type="checkbox"/> 進めていない <input type="checkbox"/> 検討中
	駐車場、駐輪場及びごみ置き場等を敷地の外から見える場所に設置する場合は、植栽により修景し、又は建築物等と一体化するなど、外観に配慮する。	<input type="checkbox"/> 配慮した <input type="checkbox"/> 配慮していない <input type="checkbox"/> 検討中
	敷地内の緑化等を推進することでヒートアイランド対策など環境に配慮し、都市のアメニティ創造並びに景観向上に努める。	<input type="checkbox"/> 努めた <input type="checkbox"/> 努めていない <input type="checkbox"/> 検討中
	敷地周辺にある緑との連続性や安全面等に配慮しつつ、道路に面する敷地に緑を適切に配置する等、植栽する樹木の位置、種類、形状等を検討する。	<input type="checkbox"/> 検討した <input type="checkbox"/> 検討していない <input type="checkbox"/> 検討中
	適切な維持管理を行い、外観を美しく保つとともに、耐震改修等の際にも、外観に配慮する。	<input type="checkbox"/> 配慮した <input type="checkbox"/> 配慮していない <input type="checkbox"/> 検討中

STEP 2. 共通指針を確認する（1）

構成要素の別	景観形成指針	景観に関する基本的な考え方
斜面、法面	緩やかな勾配の採用により圧迫感を和らげる。	<input type="checkbox"/> 配慮した <input type="checkbox"/> 配慮していない <input type="checkbox"/> 検討中
	周辺の地形との連続性に配慮する。	<input type="checkbox"/> 配慮した <input type="checkbox"/> 配慮していない <input type="checkbox"/> 検討中
	植栽可能な勾配であれば、緑化により表面処理を行い、与える印象を和らげるよう努める。その際、郷土種等を用いるなど、地域の自然生態系に十分配慮する。	<input type="checkbox"/> 配慮した <input type="checkbox"/> 配慮していない <input type="checkbox"/> 検討中
	法枠工を採用する場合にも上記と同様の配慮を行う。	<input type="checkbox"/> 配慮した <input type="checkbox"/> 配慮していない <input type="checkbox"/> 検討中
擁壁	安全面に配慮した上で、階段状としたり、緩勾配にするなど水辺に近づきやすい形態となるよう配慮する。	<input type="checkbox"/> 配慮した <input type="checkbox"/> 配慮していない <input type="checkbox"/> 検討中
	周辺景観と調和したデザインとなるよう配慮する。	<input type="checkbox"/> 配慮した <input type="checkbox"/> 配慮していない <input type="checkbox"/> 検討中
	緑化を施すことにより、与える印象をやわらかくするよう努める。	<input type="checkbox"/> 努めた <input type="checkbox"/> 努めていない <input type="checkbox"/> 検討中
舗装	安全面、機能面や環境面の配慮とともに、地域の特性に応じたデザインや素材の工夫に努める。	<input type="checkbox"/> 努めた <input type="checkbox"/> 努めていない <input type="checkbox"/> 検討中
	埋設物の維持管理等で部分的に舗装を復旧する場合、できる限り従前の舗装と違和感が生じないよう配慮する。	<input type="checkbox"/> 配慮した <input type="checkbox"/> 配慮していない <input type="checkbox"/> 検討中
付属物	防護柵、防止柵や防音壁は周辺景観に対して目立ちすぎない形状とし、また、地域特性に応じた適切な色彩とするよう配慮する。	<input type="checkbox"/> 配慮した <input type="checkbox"/> 配慮していない <input type="checkbox"/> 検討中
	眺望の期待できる高架道路等における付属物等については、安全性、機能性を確保しつつ、地域の状況に応じて、眺望の確保に努める。	<input type="checkbox"/> 努めた <input type="checkbox"/> 努めていない <input type="checkbox"/> 検討中
	道路占用物、設備類等は周辺景観や他の構造物との一体的な調和を図るよう配慮する。	<input type="checkbox"/> 配慮した <input type="checkbox"/> 配慮していない <input type="checkbox"/> 検討中

STEP 2. 共通指針を確認する（2）

構成要素 の別	景観形成指針	景観に関する基本的な考え方
付属物	彫刻、モニュメント等の設置にあたっては、設置場所の空間特性に配慮する。	<input type="checkbox"/> 配慮した <input type="checkbox"/> 配慮していない <input type="checkbox"/> 検討中
	照明施設は、周辺の状況に応じた照明方法等により、夜間景観が良好となるよう配慮するとともに、光による害が生じないように努める。	<input type="checkbox"/> 努めた <input type="checkbox"/> 努めていない <input type="checkbox"/> 検討中
	照明施設の器具や支柱等のデザインは、周辺の自然やまちなみ等の景観に調和するよう配慮する。	<input type="checkbox"/> 配慮した <input type="checkbox"/> 配慮していない <input type="checkbox"/> 検討中
	標識・サイン等は、掲出場所に留意し、分かりやすく、統一性のある質の高いデザインを採用したうえで、数や規模を必要最小限とするよう努める。	<input type="checkbox"/> 努めた <input type="checkbox"/> 努めていない <input type="checkbox"/> 検討中
緑化	大阪府自然環境保全条例に定める府有施設等の緑化基準の達成に努めるとともに、民間施設のモデルとなる緑化に努める。	<input type="checkbox"/> 努めた <input type="checkbox"/> 努めていない <input type="checkbox"/> 検討中
	既存施設についても計画的な緑化を推進し、府有施設等緑化推進計画の達成に努める。	<input type="checkbox"/> 努めた <input type="checkbox"/> 努めていない <input type="checkbox"/> 検討中
	駅前や街の中心部などの緑化効果の大きい場所においては、それぞれの場の個性を形づくるシンボリックな高木の植栽や、四季の彩りを演出する花壇などを整備する。	<input type="checkbox"/> 整備した <input type="checkbox"/> 整備していない <input type="checkbox"/> 検討中
	街全体が緑であふれるような景観づくりを進めるため、建造物の屋上や壁面の緑化、法面や擁壁の緑化などを推進し、緑視率の増加を図るとともに、周辺地域の緑との連続性に配慮し、きめ細かな広がりのある緑の形成に努める。	<input type="checkbox"/> 努めた <input type="checkbox"/> 努めていない <input type="checkbox"/> 検討中
	地域のシンボルとなる樹林や樹木は極力保全し、景観要素として積極的に活用する。	<input type="checkbox"/> 活用した <input type="checkbox"/> 活用していない <input type="checkbox"/> 検討中
	植物が健全に成長するために必要な植栽基盤の整備を行うとともに、維持管理の際に必要な剪定や枝打ちを行う場合には、樹木本来の姿を見極めて、生育に応じた樹形を美しく見せるよう配慮する。	<input type="checkbox"/> 配慮した <input type="checkbox"/> 配慮していない <input type="checkbox"/> 検討中
	施設の維持管理、改修、建替の際には、生物の生息環境となっている緑等の機能保全に配慮する。	<input type="checkbox"/> 配慮した <input type="checkbox"/> 配慮していない <input type="checkbox"/> 検討中

STEP 3. 景観形成の目標（景観に関する具体的な考え方）を立てる

※景観形成の目標設定シート①で立てた（景観に関する基本的な考え方）の各項目に沿って、景観形成の目標を具体化（複数に分かれてもよい）し、それぞれ記載してください

基本的な考え方※	No.	内容
1	1	
	2	
	3	
2	4	
	5	
	6	
3	7	
	8	
	9	
4	10	
	11	
	12	
5	13	
	14	
	15	

（必要に応じて、行は調整してください）

注釈

（※）「基本的な考え方」とは、「景観形成の目標設定シート①」の **STEP 5** で立てた【景観形成の目標（景観に関する基本的な考え方）】の各項目とします。